

## 「またかな」学校上映のお礼

拝啓 向暑の候、貴職におかれましては益々ご清祥のことと拝察いたします。このたびは、「またかな」を学校上映させていただき、厚くお礼申し上げます。

私は、喜多川泰氏の本「また、必ず会おう」と誰もが言った。」に深い感銘を受け、本校の子どもたちにこの本を紹介するとともに、「またかな」の映画をぜひ観せたいという強い思いから本校での上映を申し込みました。

本校は、福井県高浜町青葉山の山腹に立地する小学校二十三名、中学校三名のへき地・複式校です。また、本町には映画館がなく、映画を観るには隣の市まで車で出かけなければなりません。今回の学校上映は子どもたちが心より楽しみにしておりました。

「またかな」は、子どもたら一人ひとりの心に、人と人との絆の大切さとしてしっかり届けてくれました。個性的な俳優の方々共感し、いろいろな人たらしとのふれあいを通してだんだんと成長していく主人公の姿に、親しみと大きな感動を受けていました。そして、「さようなら」ではなく、「また、必ず会おう」という素敵な言葉にも大切な何かを感じ取った様子でした。

このたびの学校上映の機会をいただいたことを心より感謝申し上げます。視聴した七名の感想を添え、お礼にかえさせていただきます。

貴職の今後ますますのご活躍と貴社のご発展をお祈りいたします。

敬具

平成二十七年六月二十三日

高浜町立内浦小中小学校長

山本真

(株) TBS サービス

「またかな」企画プロデューズ

川上孝裕 様

映画『またかな』を観て、思ったことや感じたことを書きましょう。

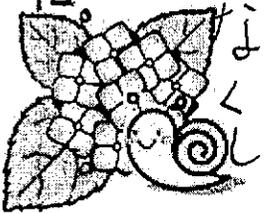
内浦④・中学校(五)年 名前( )

私はこの映画、また必ず公おっつ」を見て学んだことが一つあります。

それは、うそをついてはいけないということ  
です。そのことを特に感じたのは、高校生の男  
の人が、東京に行ったとうそをつき、そのこと  
は遠くの東京じゃない町や県に行ってしまったとい  
うところからです。私の家では、妹や弟は時  
々うそをついておこられます。しかし、私は正直  
に言うからおこりませせん。映画を見た時、私  
自身、少だけうそをついているのかなと思わされ  
て、ドモットしました。うそをつくと信らいさめなくなる。  
うそはだめなのかを分かっているのに、つくことが  
あるのかなと思いました。

私はこれまであまりうそをついたこ  
とがない。この映画を見て、改めてうそ  
をつかないというこの大切さを、改め  
て知りました。

これから正直にいて、友達のをよくし  
たくなりたいと思いました。小さなうそでも大  
きなことにながっていることが分かりました。

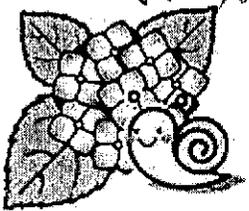


映画『またかな』を観て、思ったことや感じたことを書きましよう。

内浦①・中学校(六)年 名前( )

私は、またかなを見て思ったことは二つあります。一つは、うそをついてはいけないということだと思います。私じしん、うそをついてしまうことはあります。この映画を見ていると小さなうそが大きくなってしまうことにも気づきました。でもそこから旅に出て、みんな優しいし、主人公「和也」にも最後別れる時に「また、必ず会おう」と言うところも印象に残っています。

二つ目は、自分がもし「和也」だったら、...と考えたことです。私は、「また、必ず会おう」という言葉は、とても深い意味が入っていると感じました。また、会おうという、人との深いつきあいができることが大切だと思ったからです。最後、助けてもらった人たちに、また必ず会えたかは分からないけれど、必ず「という言葉に映画を見て、考えさせられました。財布をなくした時、私は、お母さんに来てもらうのかな」と思っていたら、空港の売店で働いている女性に助けをもらい、旅が始まる所が心に残っています。また、小説の本も読んで、校長先生がおっしゃっていたように映画とのちがいを見比べてみたいです。



映画『またかな』を観て、思ったことや感じたことを書きましょう。

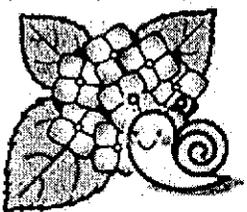
内浦① 中学校(六)年 名前( )

「私は『またかな』の映画を見てだれかにあ、たら最後にはさよなら」「バイバイ」と言わないでまた必ず会おうね」「っていい、ていたので私も友達やいここにあ、たらまた必ず会おうね」と言ってみたくてみたいです。

最初、字幕に出てきたように、昌美に「〇点」と言われ、なにもできなかった。和也ができる事を一生懸命にやるようになり、人との出会いで成長していくことに感動しました。

トラックの荷物<sup>積</sup>むところが家になっていて、いそがしくて家に帰れない時、車などの後ろに家的な物がある、たら休めるので乗ってみたいと思います。

和也は友達にうそをついて東京に行くはめになりました。やはりうそはついてはいけないと思います。



映画『またかな』を観て、思ったことや感じたことを書きましょう。

内浦  中学校(六)年 名前  ( )

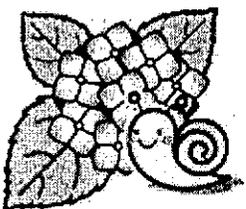
私は、「またかな」をみて学んだことは二つあります。

一つ目は、悪いことをしたらよくないことがかえってくることです。二つ目は、あきらめないことです。理由は、二つあります。

一つ目は、私が妹のおかしきこと、て食べたたら、その日、お茶をこぼしておこられたことがあったからです。またかなでも、うそをついていたら、ギョーイふもとられ飛行機に乗りおくれたりしていたので、かわいそうだなあと思いました。

二つ目は、かずやはすごいと思いたからです。私なら、あのととき旅をしようと思いません。なので、すごい勇気があるなあと思いました。

このようなことから、あきらめない大切さや、悪いことはしてはいけないということも学びました。「またかな」に出てきたかずやを助けた人たちみたい、知らない人でも助けてあげられる人になりたいです。



映画『またかな』を観て、思ったことや感じたことを書きましょう。

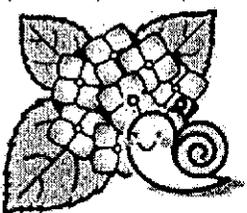
内浦④・中学校(6)年 名前( )

私は映画『またかな』の本を校長先生に貸してもらい  
お話は知っていました。それで、どんな風になっているの  
かなと思っていたら、本とまったく違ってしまいました。そうい  
うちがいも見つけられておもしろかったです。

私が感じたことは二つあります。一つ目は、主人公と私  
は少し似ていると感じました。なぜかという、主人公  
の性格はかこつけたくてたまにウソをついてしまいます。  
私もよくなにかをかくしたい時はウソをついてしまうの  
ひそこが共通していると思います。たからです。

二つ目は主人公が出会った人の顔をスマホで写真を撮  
るとるシーンがありました。その時、こうするとまた必ず会  
えるように、<sup>口</sup>と思つてとったのかと感じました。

私は人が助けくれた時人に世話になた時はその  
場に座っているのではなく、なにかをして人の役に立  
ちたいと思いました。

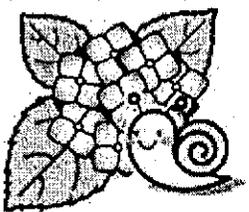


映画『またかな』を観て、思ったことや感じたことを書きましよう。

内浦小・中学校(一)年 名前( )

僕は今回の映画「またかな」を観ることができてよかったです。僕は映画を見る前校長先生に「またかなの本をかりて読みました。本と映画の話の違いを見つけながら観れてよかったです。

この話の主人公の和也はうそばかり言っていた人物だったけど終わりの方にはもう素直になっていい人間になりました。この短期間で人ってこんなに変わるんだと人との出会いの大切さを感じました。僕も、うそをつくことはあるけど、そんな大きな経験をするってことになったことはなかったのび、実際にあったらどうしようと思いました。でも、和也はその失敗をチャンスに変えてどんどん成長していったので、すごいと思いました。僕がこの映画の中で心に残った人物は、柳下さんです。柳下さんはこれもここでいい人だと思っていたけど内心は、ヤヤしくて面白い人びびっくりしました。その人は、入旅で末期がんになっっているもあわてずどうしようとしてすごいと思いました。犬勢力の家族にもめぐまれていたので僕も、家族を大切にしようと思いました。



映画『またかな』を観て、思ったことや感じたことを書きましょう。

内浦小(中学校) 2年 名前

今回の映画またかなを見て思ったことは、  
とにかくおもしろかったし、いいお話だなと思っていま  
した。

おもしろかったのは柳下さんのいろいろなお話が  
表情の移り変わりがなごです。

あとその柳下さんのテーマは「ほこ」にだんだんと  
うちとけっていく和也もおもしろかったです。

和也がいろいろなきびしい社会の人と触れ合っていく  
中で前半では全然違いうるうに成長していくのに  
感動しました。

って厳し中び自分の力で生きていくと立派に  
成長していくんだなと思いました。

あと大人には、ウソがばれる。長生きしている人が  
よくわかるんだなと思いました。

私もうんとかうわぶだけのうき合ひび 生きていく人  
いかなくて人にむき合ひしていく。言いたいことは言う  
て相手を傷つけないように注意してこの人生を  
歩んでいきたいなと思いました。

